

# 自己評価総評

## (特別養護老人ホーム・短期入所)

平成29年4月7日

担当者 佐藤 大典

代表者会議での検討内容

### 【利用者・家族評価結果からの課題と今後の取り組み】

利用者様・ご家族からは概ね好評という評価をいただきました。サービス提供体制・職員の接遇の面では100%の評価をいただきました。前年度より好評の結果を頂きました。ご要望としては入浴の回数を増やしてほしいという要望が見られました。また、ユニットの職員が固定していることについても好評をいただいております。面会時に状態についてご家族へ説明してくれる職員の体制について安心と感謝の言葉をいただいております。今後もご家族の面会時や状態に変化があった場合、定期的にご家族に状態のご報告をしていけるよう体制を整えていきます。

### 【職員評価結果からの課題と今後の取り組み】

#### ①事業の管理・運営の項目の評価が全体的に低く

特に「職員の調査研究の指導や研究を推進していますか」という設問と「ボランティアや地域住民を受け入れる機会を作っていますか」という設問についての平均が「3」を下回っていました。

外部・内部研修については参加できている状況ですが、調査研究については機会そのものが無く、評価が低かったと思われます。今後は各関連団体と連携し調査研究の機会があれば積極的に参加を促します。また職員個人が希望するものがあれば奨励します。

ボランティアや地域住民を受け入れる機会については、ボランティアの確保という点では、函館市の介護支援ボランティアポイント事業への登録も行っておりますが、問い合わせが過去に1度あったきりで受け入れには至っておりません。地域住民の受け入れについては夏祭りへのご案内を行ってまいりました。平成29年度については社会福祉法人の改正に伴う地域貢献事業の中でより地域との関係を構築し、開かれた施設となるよう、また特別養護老人ホームとしてできる地域への貢献について模索し実行していきます。